

タン」に改造して背中に龍と麒麟の刺青を彫る。若いのにアル中である。このようなストーリーだから、全編セックスと酒漬けで喧嘩はもとより殺人までなんでもありのデカダン小説。

私は若い女の子が背中に刺青をしているのは見たことがあるが、この「スプリットタン」は未だ知らない。ぜひ見てみたいものである。50も半ば過ぎた私が未だ見ていないのに20歳の作者は「セックスの前後に彼のスプリットタンで乳首を愛撫されるのが最高。」と19歳の主人公「ルイ」に言わしめている。

これを載せた文藝春秋3月号は売れに売れ、増刷につぐ増刷で、115万部と史上最高に売れ、単行本と合わせると250万以上の人がこの小説を読んだことになるそうで、それも私のような「オジン族」が大半らしい。文芸春秋はよほどおいしかったらしく、4月号でもこの後追い特集をしている。

作者の金原ひとみ自体が小学生から登校拒否で、中・高校生の年齢では学校には行かず色々な男と同棲し、盛り場で遊びまくり、リストカットなどの自傷癖があったというから、私小説風にも見える。いっそのこと彼女が「スプリットタン」で、芥川賞受賞のテレビ会見でそれを披露してくれたら、「スプリットタン」なるものを一度見てみたいとの私の欲求は満たされたのに残念ながら普通の舌のようであった。

次作の発表と今後の成長が楽しみな作家である。

ついでながら、綿矢りさの『けきたい背中』の方が単行本では、『蛇にピアス』よりよく売れているらしいが、私には高校生の小説のようで面白くなかった。

みなさんのご感想はいかがでしょうか？未だお読みで無い諸氏には是非、ご一読をお勧めします。

4月近隣RC特別例会案内（記帳受付）：

RC名	変更事由	記帳場所
6日（火） 分水	移動例会	新潟大栄信用組合本店
13日（火） 田上	10周年記念式典と振替	田上町商工会館
14日（水） 三条	春の味覚例会	三条信用金庫本店
15日（木） 加茂	田上10周年と振替	加茂市産業センター
15日（木） 燕	4クラブ観桜会	第一グランドホテル
16日（金） 吉田	4クラブ観桜会	山岸会計事務所
19日（月） 三条南	旬例会	三条信用金庫本店
20日（火） 分水	早朝例会	新潟大栄信用組合本店
23日（金） 吉田	早朝例会	山岸会計事務所

3月30日例会：夜例会 於三条ロイヤルホテル 午後7時点鐘

卓話「麗しのカクテルで春ウララ」梨木美裕樹様

4月6日例会：新入会員卓話 本間重満会員

4月13日例会：移動例会 社会奉仕事業「新潟オートリサイクルセンター」見学会

反省会 於三条ロイヤルホテル午後6時30～

4月20日例会：「ロータリー雑誌月間」

卓話「警察人生を振り返って」新潟県警察本部交通部長 渡辺 守様



Lend a Hand

会長／山本 賢

幹事／西山 斉

SAA／小林 繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例会日
2004. 3. 23
累計 No 843
当年 No 36

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内

TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事： 新入会員卓話 丸山達夫会員

出席： 本日の出席 60名中 40名

先々週の出席率 60名中 51名 85.00%（前年同期77.97%）

先週のメイクアップ： 3月16日 分水RCへ 岡田 健さん

17日 三条RCへ 石川勝行さん、小林 満さん、西村 護さん

本間建雄美さん

18日 東京池袋RCへ 笹原壮玄さん

19日 吉田RCへ 羽賀一夫さん

オブザーバー： 横田加代子さん

会長挨拶： 山本 賢会長



今日は棋士谷川浩司さんの話をしたいと思います。

谷川さんが将棋を始めたのは5歳の時、父親が将棋盤を買ってきたのがきっかけだったそうです。11歳でプロ棋士の養成機関である「奨励会」へ入会し、異例のスピードで昇進、わずか14歳で4段に昇段しプロになり、弱冠21歳の最年少で将棋界最高の栄誉である「名人」のタイトルを獲得した輝かしい経歴を持っています。

現在150名ほどのプロ棋士の中で、「名人位」に挑戦できるのはA級に属する10名のトップ棋士だけです。以下、B級1組、B級2組などと5つの順位戦がありますが、昇級は1年に1つしかできないため、挑戦者になるには、最短でもプロ棋士になってから5年がかかります。ですから、いかに谷川さんの昇進が早いかお分かりいただけたと思います。

しかし、私達の世代がなぜ谷川さんに感ずるところがあるかというと、谷川さんを除く全員が20代30代のA級棋士の中で40代の谷川さんは年配ですがトップを維持しているところからです。

その谷川さんと数々の対局で死闘を演じてきたのが羽生善治さんです。羽生さんとはこれまで138局戦っているそうですが、最初の30局は負けることが多かったそうです。その時谷川さんは明けても

暮れても「羽生善治の将棋の研究」をし、どうすれば勝てるのかということばかりに意識を集中してしまい、自分らしい将棋を忘れてしまっていたことに気が付いたそうです。目先の勝利しか考えていなかったのです。

また、谷川さんによると、将棋の世界には本筋の手と無筋の手というものがあります。本筋の手とは、その局面ではそう指すのが常識と思われる手で、無筋とは、逆にその局面でその手はちょっと考えられないという常識外れの手のことです。本筋しか指せない人はプロになれても一流と称されるプロにはなれません。直感で無筋を指し、一步踏み出していかなければ新しい世界や境地は開けていかないそうです。

谷川さんは将棋が指す意味を一言で言う「自分自身を表現するということに尽きる」と言っておられます。お金を稼ぐ手段ということだけでなく、1手でも多く自分らしい手を棋譜に刻み、後世に残していきたいと思っているのです。それは1人の棋士が将棋に命をかけてきた証でもあるのです。そして本当の強さとは自分一人で戦っているのではない、人と繋がることで生きていけ、いろんな人の力の後押しを受けて将棋ができている、これは将棋の世界だけにいえることではなく、私達の仕事にも通じるのがあると思います。

幹 事 報 告： 西山幹事

・次週30日は夜例会です。午後7時点鐘 三条ロイヤルホテルにて
欠席される方はいつも通り事務局までご連絡下さい。

・新潟いのちの電話より 事務局移転のお知らせとご協力をお願い（4月1日より）
新住所 新潟市上所2-2-3新潟ユニオンプラザ ハート館

・三条クリーン協議会より 平成16年度定時総会開催のご案内
日時 16年4月23日（金）19：00～
会場 三条ロイヤルホテル

ニコニコボックス：	23日現在累計	854,000円
-----------	---------	----------

米山忠俊君 丸山会員卓話ご苦勞様です。宜しくお願い致します。

今村泉君 丸山達夫会員の卓話、期待しております。

堀川正幸君 先週弥彦山に登ってきました。山はもう早春です。雪割草、オウレン、一輪草、マンサクなどが咲いていました。芝はまだまだでしょうか？4月の山とゴルフが楽しみです。／

岡田健君 BOXに協力。

山崎勲君

*三条市役所地域振興課石黒様より 「みんなつながるふぉーらむ」の主旨説明と参加協力をお願い
新入会員卓話： 丸山達夫会員

昨年11月から当クラブに仲間入りさせて頂いた丸山達夫であります。

広い社会で活躍され、多くの交友関係をお持ちの皆さんと違い、いたって世間の狭い人間でして何の話題も持ち合わせておりませんので、今日は私の体験談くらいでご勘弁頂きたいと思います。



私共は昭和46年に家内が小さな宝石ケース2箱程の外商から始めまして、52年には今の本字小路に出店出来ました。お陰様で爾来30年余り「スピン宝飾店」で商売を続けさせていただいております。

当時はようやく日本も豊かになってきましたて、本物の宝石や金製品が出回り始めた頃でした。また、色々の人造宝石やらまがい物やらが出回って来た頃でもあります。チャザムのエメラルドとか、ギルソンオパール、YAGなどは現在でもアクセサリーとして流通しております。困ったこと

に鑑別法は偽物が出現した後から追いかけて研究されるものであります。最近などは工業技術の進歩もあり、知らないうちに工場出荷の新種宝石が流通しているのかしらん、などと考え込むことがあります。大手の京都セラミックなどではそれなりのポリシーで天然宝石以上の宝石と銘打って自社ブランドで展開されていますが、通販などでは合成品に尤もらしい名称を付けて、あやしげな売り方をされているのがよくあります。

宝石の鑑別は、経験を積みますとルーペや顕微鏡などで相当のところまでは出来るようになります。通常流通している品物程度ですと大抵の場合、内部を良く観察すれば天然石の証拠は見つかります。なにしろ物が物ですので、傷を付けて硬さを調べたり、一部を取り出しての検査などが不可能で、外側から眺めるしか方法がないのが泣き所です。高品質になると手掛かりとなる瑕やひびが見られないため、真贋は専門の機器を揃えた鑑別専門業者に鑑定依頼することになります。

ある程度自分の目に自信がつかますと人間欲が出まして、ここは一発原産地へ行ってなんとか掘り出し物を安く手に入れたいものだと考えるようになります。私も何回か出掛けました。しかし、たとえば観光で三條へ来た人が、包丁、鋸をそこで安く卸値で買える訳ではないのと同じでタイ、スリランカ、メキシコなどであんまり良くて安い品物に出会った経験はありません。でもスリランカの宝石原産地ラナトプーラなどでは、現地の子供達が大勢小さな薬瓶の中にルビーやサファイヤの原石を入れて売りに来まして、大変楽しい買い物ができます。しかし良質の物はすぐに仲買人の手に渡ってしまうのでしょ、我々、一見の客の目に触れることはまずありません。

私も宝石店店主ですから、その辺の事情は皆様よりは良く分かっておるはずですが、やっぱり雀百までのたてえのように、そのうちにオーストラリアの地下都市で一日券を買ってブラックオパールを掘り当ててみたいものだなどと考えております。

会 員 の 声： 『蛇にピアス』 外山晴一

今年の芥川賞が愚息の一つ年上で20歳の金原ひとみと綿矢りさに決まったというので早速読んでみた。

特に、金原ひとみの『蛇にピアス』は「スプリットタン」といった全く私の知らない世界が描かれていて興味深く、またストーリーの展開もテンポが速く、おもしろく一気に読ませてもらった。

「スプリットタン」とは蛇の舌のように先が2つに割れている舌のことで、まず舌にピアス開け、だんだんそのピアスを大きくして最後に舌先を割って改造するのだそうで、これが題名につながっている。

19歳の女主人公「ルイ」はこの蛇舌に改造した1歳とし下の彼「アマ」に惚れ、自分も「スプリト